年間授業計画　新様式

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科　　国語　　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年

使用教科書：（「新編　言語文化」（数研出版）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句、文章の構成、文法や文学史など、言葉の特徴や使い方に関する正しい知識や、実社会に必要な国語の正しい知識や技能を十分に身につける。	・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに表現したりする中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	・日々積極的に授業に参加し、課題に対して十分に取り組む姿勢を身に付ける。 ・言葉を通じて他者との関わりの中で伝え合う力を身につけ、自分の思いや考えを積極的に広げたり深めたりする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価の方法	評価の観点			配当時数
			話・聞	書	読		知	思	態	
前期	・読解によって、文章の場面設定や構成を正しく理解させる。 ・登場人物とその特徴を把握させる。 ・作品に現れる人物の心情の変化を理解させる。	現代文：小説「とんかつ」 『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	6
前期	・説話文学の特徴を知る。歴史的仮名遣い、基礎的古文単語の意味を知る。音読を通して古文に慣れ親しむ。 ・場面転換と登場人物の心理変化を追いかけ、この話のおもしろさを味わう。	古文：宇治拾遺物語「児のそら寝」 『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	10
前期	・これまでの学習成果をはかる。	前期中間考査		○	○	考査	○	○		2
前期	・漢文の口調に慣れ親しませる。 ・返り点と送り仮名のきまりに習熟させる。 ・訓点に従って漢文を書き下し文にさせる。	漢文:訓読のきまり　格言 『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	8
後期	・具体例から自戒を含む主張へとつなぐ展開を理解する。 ・形容詞と形容動詞について理解する。 ・文体の特徴を理解する。	古文:徒然草　『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	10
後期	・これまでの学習成果をはかる。	前期期末考査		○	○	考査	○	○		2
後期	・読解により登場人物の心情や行動を読み取り、情景描写を味わう。 ・小説の主題をつかみ、小説読解の方法を知る。	現代文：小説「羅生門」 『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	10
後期	・漢詩の形式や規則を理解させる。 ・日本で広く親しまれた唐詩に触れ、うたわれた情景や心情を読みとる。	漢文:中国の漢詩「春暁」「涼州詞」「春望」 『新編　言語文化』（数研出版）	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、小テストの結果など。	○	○	○	8
後期	・これまでの学習成果をはかる。	後期中間考査		○	○	考査	○	○		2
後期	・故事成語が基づく寓話の内容を理	漢文:故事成語「虎の威を借る狐」	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、	○	○	○	8
後期	・的確な現代語訳を通して内容を理	古文:伊勢物語「筒井筒」	○	○	○	出席・授業への取り組み、提出物等の状況、	○	○	○	10
後期	・これまでの学習成果をはかる。	後期期末考査		○	○	考査	○	○		2
										合計
										78